

「運命のレース」で、息子は最後まで氷を蹴っていた

どい こうじ さん ・ くみこ さん
土井 浩次さん・久美子さん



「保育所の帰りにスケートを履かせたら、椅子につかまりながら結構進んだ。足首が強い子だなと思った」と、3歳で初めてリンクに立った息子の当時を振り返る、父・浩次さん。「小学校1年生の大会では、いい所でいつも転んでいて、無事にゴールまで辿り着いたのは数回。2年生になって急に速くなった」と言う。「テレビゲームを買ってあげてもほとんどやらないで、いつも外に遊びに行き、ご飯は普通の子の3倍くらい食べた。うちの畑で育ったナガイモを食べて粘り強い人間になったのかな」と、両親は顔を見合わせて笑う。

息子のレースには常に足を運んでいたが、長野県でのトリノ五輪最終選考会で落選してから浩次さんは長野での応援をやめた。

昨春、苦悩する息子の心は折れかけていた。「あと1年頑張ってみては」。浩次さんの一声に「自分のスタイルを貫いてみる。これでダメならダメ

なんだと思う」と再奮起。「今シーズンは見に行かなくては」と浩次さんは再び長野のレースにも足を運んだ。12月30日の“運命のレース”では、常にビデオ撮影をしていた父に対して息子は、「今回はビデオを撮らなくていいので、声を出して応援して」とお願いした。初めてビデオを置いての観戦。「最後まで氷を蹴っていた。高校2年生の時、世界ジュニアで優勝したときの滑りに似ていた」と両親も絶賛の滑り。「力があるのにそれが出し切れず、悔しい思いもいっぱいした」という両親に最高の結果をプレゼントした。

「本当に多くの方々に応援していただき、支えていただいた。皆さんに恩返しをできる場に行けたので、自分のスタイルを貫いてレースを楽しんでほしい」と、母・久美子さんはエールを送る。

2月21日（日本時間）、頑張り屋の息子は、夢の舞台に立つ。



愛犬の立も応援している？

明治 北海道 スケート王国を支える拠点施設「明治北海道十勝オーバル」

十勝 オーバル

平成21年9月にオープンした、北海道で初めての屋内スピードスケート場(400m標準ダブルトラック)。中地多目的広場ではフットサル3面、テニスコート6面が使用できる。

- 利用期間 7月第4日曜～3月第1日曜 9時～22時
*中地多目的広場、トレーニング室は通年営業
- 利用料金 大人800円・高校生400円・中学生以下200円
- 特徴 天井が低く、リンクに沿って壁が構築することにより容積を抑え、エネルギーコストが効率的。また、選手の滑る方向に風が舞う構造になっている。リンクのすぐそばで応援できることから臨場感あるレースを体感できる。

「土井選手の五輪出場は、十勝の子どもたちに夢と希望を与えてくれました。土井選手も練習しているオーバルをどんどん活用してください」

帯広市教育委員会スポーツ振興室 副主幹 服部 哲也さん

明治北海道十勝オーバル ☎49-4000



リンクのすぐ横での観戦は迫力満点 トレーニング室は200円で利用可能 歴代五輪選手のパネルが並ぶ。土井選手のパネルもここに飾られることになる。

平成18年8月、地元、祥栄地域の方々を中心にサポーターズクラブを結成！ “地域の絆が夢を支えた”

「4年前のトリノ五輪落選は、本人も相当ショックだったと思います。そんな時、地域の先輩である大野泰裕さん(現サポーターズクラブ事務局長)に“五輪を目指す土井くんを応援しよう”と声を掛けてもらい、祥栄地域の方が中心になり、土井慎悟サポーターズクラブを結成しました(1/29現在の会員数は68人)。

慎悟とは、小学生の時、一緒にスケートを滑りましたが、“とにかく速かった”という印象が残っています。運動神経が抜群なうえ、面倒見が良く、人なつっこい性格でした。1月16日(土)に開催した激励会に250人もの方が集まったのも、彼の人柄だと思います。

彼の家族は本当に仲が良く、本人の努力はもちろんですが、家庭の温かさも五輪出場の大きな原動力だったと思います。

最終選考会の長野のレースは、慎悟以上に僕らの方が緊張していました。レースが終わり長野から東京に向かう新幹線の中で正式な五輪出場の連絡が入った時は、苦労や努力を身近で見ましたし、いろいろな思いが込み上げて、涙が出ました。

彼は不平不満や後ろ向きなことは絶対に言わないし、辛いとか痛いという言葉は口にしないアスリートです。

16日の激励会には多くの方に参加いただき心から感謝しています。バンクーバーには、皆さんに書いていただいた“寄せ書き入りの日の丸”を持って、町民の皆さんの分も応援してきます。

お互い忙しくてほとんど話ができていないので、五輪が終わったら、慎悟とゆっくり話がしたいですね。

寄せ書き入りの日の丸と、町民の皆さんの思いを持って応援してきます。



土井慎悟サポーターズクラブ 代表 寺町 智彦さん

芽室町祥栄で農業を営む。妻、2男1女の5人家族。釣りが趣味の31歳

土井慎悟選手登場(1500m)は、2月21日(日)大型スクリーンで、みんなで応援しましょう!

中央公民館講堂で観戦会を開催

2月21日(日) 8時30分開場

入場無料! 申込不要!

多くの方の参加をお待ちしています。

※競技時間は、9時15分から11時です。



写真：十勝毎日新聞社提供

☎社会教育課スポーツ振興係 ☎62-9730(内516)